

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成20年11月11日

事業所番号	2773600479	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 アラキコーポレーション	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム きさべ	評価調査日	平成 20 年 11 月 7 日
所在地	大阪府交野市私部南2丁目18番6号 (電話)072-810-0226	評価確定日	平成 20 年 11 月 13 日

【情報提供票より】(平成20年10月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年5月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	21人 常勤 12人 非常勤 9人 常勤換算 15, 2人

(2) 建物概要

建物の構造	木造 2階建ての(1階～2階部分)
-------	----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	63,000円	その他の経費(月額)	27000円
敷金	無()		
保証金の有無	有 500,000円		
(入居一時金を含む)	退所時300,000円返金		
	朝食 円	昼食 円	
	夕食 円	おやつ 円	
	または1月当たり 45,000円		

(4) 利用者の概要(10月20日現在)

利用者人数	17名	男性	0名	女性	17名
要介護1	0名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢 平均	84才	最低	75才	最高	94才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	交野病院 ひびき眼科クリニック たかはま歯科
---------	---------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

開設当初からの理念「自分らしく最後まで普通に暮らせるように支援していきます」を掲げ、職員は一体となって日々の介護に当たっている。職員の大半が開業以来の勤続者で、安心と安全の介護が行われているが、特に、個人毎に把握し、記録された症状に合わせた介護を、実施している。したがって、利用者、ご家族はホームの暖かい気付きの介護を信頼し、安心されているのが実状である

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域の方々との交流は地理的環境から年月が掛かるのは已む得ない状況にある。自治会との交流は前年から引き続き実施され、バザー、盆踊り、文化祭等に参加している。ホーム周辺の自作農の方々とは、当初から日常会話による交流が行われており、農作物も時々、頂戴している。また、枚方・交野地域のグループホームとの交流も随時に実施し、情報交換が出来る
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者が看護師資格者でもあり、ベテラン職員との日常の連絡対話の中から、今回の自己評価が作成された。毎日が気付き、反省、指導、の介護が行われており、利用者毎の介護記録はケアプランの作成と、質の高いサービス提供するために、分かり易い記録に纏められている。運営者は職員に業務の責任を少しづつ委譲しつつあり、これが職員の励みともなっている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、ほぼ2ヶ月毎に開催されており、ホーム運営の報告、質疑応答、情報交換が出来る。そして、ご家族の意見等も頂きながら、ケアレベルの向上の参考とさせてもらっている。又、自治会役員との交流も進み、情報の交換が出来る
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族来訪時に職員が利用者の最近の生活状況を説明し、また、ご相談等も受けている。運営者は、ご家族との日頃の対話が、利用者の介護上、特に必要であるとして積極的に交流を進めているが、利用者毎に担当している職員も、お互いの関係を深め、信頼関係作りに努力している
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームの所在地は田園地帯の真ん中にあり、当初は住宅が僅かしかなかったが、徐々に新築が増え、家々が並んで来ている。古い集落とは少し離れているので、交流は長い眼で見る必要があるが、運営者としては地域交流に前向きであるので、将来を期待したい

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「自分らしく最後まで普通に暮らせるように支援していきます」を掲げている。そして、過去5年間で職員と協力して、理念通り実践している		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者は職員の指導方針として、毎日の介護の中で、理念の実践を指導している		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	自治会の行事や、招待された行事には積極的に参加している。	○	地域との交流は、これまでと同じように、長い目で見て進めて欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を深めるために、先にカンファレンスを行い、職員の理解を得た上で、自己評価を行った		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営者は推進会議で頂ける情報を大切にして、介護向上を図りたいとしている		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の介護保険課の取り組みに積極的に参加し、施設見学の行事には協力して受け入れている。又、外部の方々のご意見等も参考にして、介護向上に取り組んでいる		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書には個人毎に生活状況を報告し、更に、来訪時には面談を行って関係を密にするよう配慮している		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族とは運営推進会議や来訪時に積極的に面談し、ご意見、苦情等があれば伺って、直ちに解決するよう配慮している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	組織としての安定性と継続性を持たせるために、これからも職員に少しずつ管理能力の向上への指導・研修を継続して行って欲しい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		ホームの雰囲気を知って頂く為に体験入所もして頂き、納得して頂いた上でサービスを開始している
--	----	----	---	--	---

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		入所以前の生活と変わらないように配慮して、少しずつ関係を深めている
--	----	----	--	--	-----------------------------------

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		毎日の申し送り時に、利用者について見付けたキーポイントの記録を、職員の共通情報としている
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		日々の情報記録を基に、カンファレンスを行って、一人ひとりに合った介護計画の作成に努めている
--	----	----	---	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	症状の変化があると、直ちに介護計画の変更を行っている。本人、家族、医師その他の関係者とも協議している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の機能に合わせた支援を実施している		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	毎週1回、ホームドクターの往診を受けている。		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の皆さんが終末まで安心して生活を送って頂けるようにし、同意書も得て実施している。職員全員も方針を共有して、介護に当たっている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	言葉遣い、情報の守秘義務、記録類の保管にも配慮した、介護を行っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの大まかな基準はあるが、基本は本人の希望・体調に合わせて配慮している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、利用者の好みにも適宜、応じている。準備、片付け等にも、出来るだけ手伝って頂けるよう、配慮している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○ 入浴を楽しむことができる支援			
23	57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応の基準はあるが、本人の希望に応じて適宜に、入浴してもらっている		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

		○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援			
24	59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力に合わせた役割を見つけて、それを活かして頂いている。又、野菜づくり、手芸等の楽しみを支援している		
		○ 日常的な外出支援			
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるよう支援している	天候に合わせてホームの庭での楽しみごと、近所の散歩等支援している		

(4) 安心と安全を支える支援

		○ 鍵をかけないケアの実践			
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵掛けについて職員は気を使っているが、外部からの寸借訪問があり、困惑している		
		○ 災害対策			
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難手順は掲示されている、又、消防署員による避難訓練も実施している		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

		○ 栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	準備とメニューは全て自家製。利用者のレベルにあった内容と季節感のある食事、運営者は常に利用者に美味しい食事の提供を旨としている		

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

		○ 居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地は新築からの建物、施設であるので良く、管理も行き届き、良い空間となっている		
		○ 居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内の家具道具類は本人、ご家族により適宜に持ち込んで、過ごしている		